

シニア向け SNS の検討

オウ セイ*, 鈴木 秀和, 川澄 未来子, 渡邊 晃(名城大学)

Researches on SNS for Seniors

Sei Ou, Hidekazu Suzuki, Mikiko Kawasumi, Akira Watanabe (Meijo University)

1. 研究背景

近年、スマートフォンの普及によって、SNS (social networking service) の利用率が高まってきた。SNS とは、友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供し、趣味や居住地域などのつながりを通じて新たな人間関係を構築することをサポートする、会員制のサービスのことである。SNS により、社会的ネットワークをインターネット上で構築することができる。日本で利用されている SNS としては mixi、GREE、Mobage などがある。

また、少子高齢化・核家族化が進む中、高齢者向けのスマートフォンが発売され、若者だけでなく、高齢者もスマートフォンを持つようになった。このような状況から、高齢者がスマートフォンから SNS を利用する機会が増えていくと考えられる。

本稿では、まずシニア向けの SNS の現状と課題を述べる。そして、シニア向け SNS は今後どうあるべきかを検討し、最後に具体的な提案を紹介する。

2. シニア向け SNS の現状

SNS は、2003 年ごろから世界で流行し、今日では多くの種類が存在する。その中には、シニア向けのものも多く存在する。例えば、シニア向け SNS 最古参の一つで、入会に年齢制限 (50 歳以上) があるコミュニティサイトとして知られているシニアコム.JP や、デジカメ講座やパソコン講座をはじめとした「学び」と「出会い」を提供するスローネットなどがある。これらの SNS の特徴として、画面がシンプルで操作しやすいなどの点が挙げられる。また、提供されているコンテンツは高齢者のニーズが高い物が多い。

しかし、ほとんどのシニア向け SNS は、スマートフォンのアプリとして提供されておらず、インターネットブラウザからしかアクセス出来ない。一方、機能として情報提供やコミュニティなどが中心となるものが多い。現在、高齢者の ICT 活用が進む中、全面的に高齢者のセカンドライフをサポートする SNS が必要になると考えられる。

3. 提案方式

今後、シニア向けの SNS として、高齢者の身体的特徴を考慮してユーザインタフェースを改善するほか、スマートフォンから気軽に利用できるようにするべきだと考えられる。また、スマートフォンに搭載されているセンサや GPS などを利用して、高齢者を手助けする機能が重要になると考えられる。その具体例として、「置き場リマインダー」機能を提案する。

提案方式は、物が映っている写真と撮影位置を記録し、置き場所を忘れてしまった場合に写真情報を確認し置き場所を特定することができるシステムである。特徴としては以下の 2 つが挙げられる。1 つ目は、高齢者のことを考慮し、登録の際に写真を利用することである。これにより、手や目が不自由な高齢者でもワンタッチで物の場所を登録することができる。2 つ目は、撮影した写真と撮影場所を管理サーバに送信

することによって、パソコンやスマートフォンなどからいつでも閲覧できる。また、登録された情報は離れ離れの家族と共有することもできる。

提案システムの構成を Fig.1 に示す。左から「高齢者」、「管理サーバ」、「共有者」の順番で記載されている。具体的な処理の流れは以下の通りである

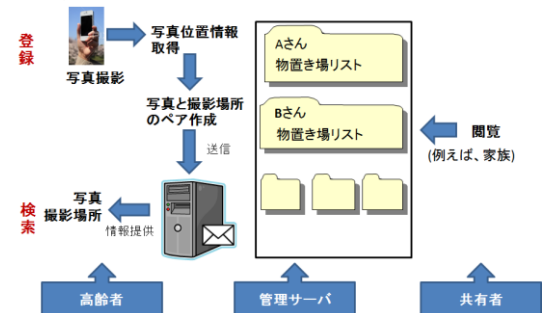


Fig.1 Process of storage reminder.

スマートフォンにて、「場所登録」か「場所検索」を選択する
(1) 「場所登録」が選択された場合

- ① 自動的にカメラモードになり、物がある場所の写真の撮影をユーザに要求する。
- ② 場所の情報を取得する。場所の情報を取得する方法としては、NFC(Near Field Communication)タグを用いる方法などが考えられる。
- ③ 撮影した写真と撮影場所をペアとして管理サーバへ送信する。
- ④ 管理サーバには、ユーザごとに情報が蓄積される。これらの情報は許可された人なら誰でも閲覧することができる。

(2) 「場所検索」が選択された場合

- ① 登録済の写真一覧が表示され、検索したい物がある写真を探す。
- ② 写真をクリックすることにより撮影場所、日付などの情報が表示される。これらの情報により、物の置き場所に辿り着くことができる。

4. まとめ

本稿では、高齢者の使いやすさを考慮しつつ加齢による物忘れを手助けするシニア向け SNS の一つの機能として、「物の置き場リマインダー」機能を提案した。今後は、実装に向けて検討を進めていく予定である。

謝辞

本研究は、総務省戦略的情報通信研究開発推進制度 (SCOPE) の支援を受けて実施された。

文 献

- (1) 高齢化社会を取り巻く SNS : <http://www.net.c.dendai.ac.jp/~kubota/>(最終閲覧日 2013/7/16)
- (2) シニア層におけるコミュニティサイト利用に関する調査 <http://research.goo.ne.jp/database/data/000766/>(最終閲覧日 2013/7/16)

シニア向けSNSの検討

Researches on SNS for Seniors

名城大学 理工学部

オウ セイ 鈴木 秀和 川澄 未来子 渡邊 晃



研究背景

- ▶ SNS(social networking service)の利用率の増加
 - ▶ 近年、スマートフォンの普及により、SNSの利用率が急速に増加している
- ▶ 高齢者がスマートフォンを利用する機会の増加
 - ▶ 少子高齢化・核家族化が進む中、高齢者向けのスマートフォンも発売され、高齢者もスマートフォンを持つようになった

ゆえに、

高齢者がスマートフォンからSNSを利用する機会がこれから増えていくと考えられる

シニア向けSNSの現状①

- ▶ 画面がシンプル
- ▶ 操作しやすい
- ▶ 趣味で繋がる
- ▶ 提供情報は、健康、食など多い

The screenshot shows the homepage of Seniorcom.jp. At the top, there's a navigation bar with links like 'シニアコムとは', 'よくある質問', 'お問い合わせ', and 'ヘルプ'. A search bar and a 'ブログ' dropdown menu are also present. Below this is a banner for 'シニアコム.JP' with the tagline '50歳未満お断り! 大人のコミュニティサイト' and a '無料会員登録はこちら' button. The main navigation bar includes 'ブログ', 'フォト', 'サークル', '特集', 'プレゼント', '新規会員登録', and 'ログインはこちら'. The central content area features a large banner for the 'シニアコムカップ 第2回 シニアコムカップ 川柳コンテスト' with a theme of '家族'. To the right is a 'PRESENT' section for '今週のプレゼント'. Below these are category links: '健康', '美容', '食(グルメ・レシピ)', '家族・ペット', '趣味', and 'シニアの気持ち'. The bottom section is divided into three columns: 'フォト' (with a '一覧を見る' link), 'ブログ' (with a '一覧を見る' link), and 'シニアコムニュース'. The 'フォト' column shows a grid of new photos with captions like '東風さん', '散輪坊さん', and '散輪坊さん'. The 'ブログ' column lists new blog posts with dates and titles, such as '2013.09.19 深層地下トンネル、超... (エルフコムさんさん)' and '2013.09.19 読んでね (ronabebeさんさん)'. The 'シニアコムニュース' column contains important announcements, including '2013.9.17 第2回シニアコムカップ 川柳コンテストを開催!' and '2013.9.13 プレゼントページ更新しました! たくさんのご応募お待ちしております!'.

<http://www.seniorcom.jp/>

シニア向けSNSの現状②

- ▶ 情報提供やコミュニティなどが中心となるものが多く、SNSとしての最低限の機能だけを果たしている
- ▶ スマートフォンのアプリとして提供されるものがほとんどない

高齢者のICT活用が進む中、高齢者にとっては、コミュニケーションの場を提供しながら生活面でもサポート可能な総合的なSNSがあれば、もっとセカンドライフを楽しめる！

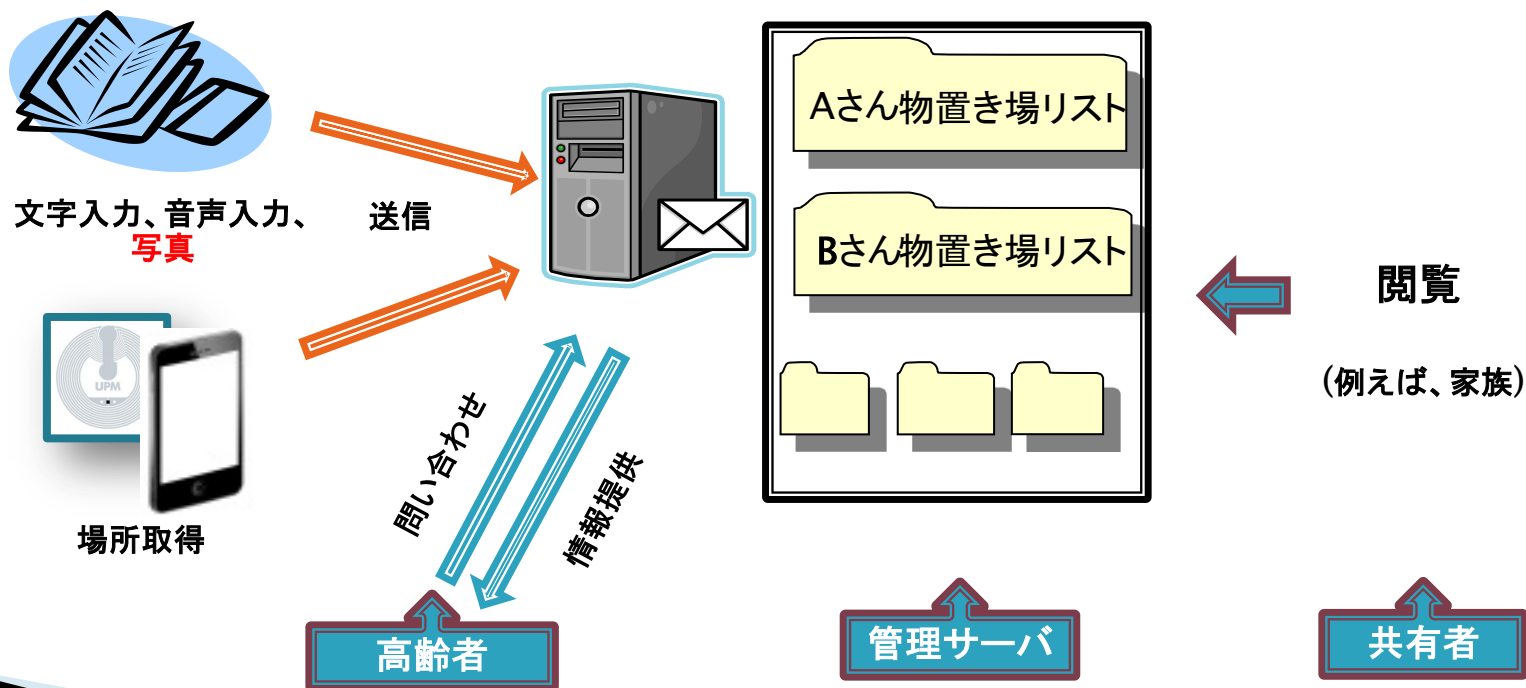
提案方式

- ▶ 加齢による物忘れを手助けするシニア向けSNSの一つの機能として、「**置場リマインダー**」を提案する
- ▶ なぜかと言うと
 - SNSとして今までないものを提供したい
 - 精神面だけではなく、身体面からも高齢者をサポートしたい
 - スマートフォンに搭載されているセンサや位置情報などを利用して、SNSの可能性を広げたい



概要

- 登録された情報により、物の置き場所を特定するシステム
 - 事前にもものと置き場所を登録し、サーバに蓄積する
 - 置き場所を忘れてしまった場合に写真情報を確認し置き場所を特定する



設定と特徴

▶ 設定:

- ▶ 場所是一个の部屋とする
- ▶ 保存できる写真の数量は100枚程度

▶ 特徴

- ▶ 登録際に写真を利用することができる

⇒ ワンタッチで物の置場登録可能

- ▶ 登録されたデータを管理サーバに蓄積

⇒ ◆パソコンやスマートフォンなどからいつでも閲覧できる
◆登録された情報は離れ離れの家族と共有できる

スマートフォンにて、「場所登録」か「場所検索」を選択する

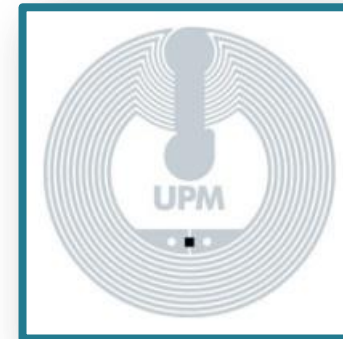
場所登録

「場所登録」と選択された場合

① 自動的にカメラモードになり、物がある場所の撮影を要求する

② 場所の情報を取得する

- NFC(Near Field Communication)タグを用いる
- NFCとは近距離無線通信技術で、「かざす」だけで簡単にデータ通信が可能
- 必要物
 - NFCタグシール(予め、部屋に貼りつける)
 - アプリ「NFCタグリーダー」



直径25mm×厚さ0.6mm
×サイズ144バイト

場所登録

- ③ 撮影した写真と取得した場所をペアとして管理サーバへ送信する
- ④ 管理サーバには、日付別に情報を格納する



場所検索

「場所検索」が選択された場合

- ① 指定された日付の写真の一覧を表示する
- ② 検索したいものが映されている写真を探す
- ③ 写真をクリックすることで、登録場所と日付などの情報が確認できる

提案方式によって

- ▶ 高齢者の物忘れによる物の置き場の失念の軽減
- ▶ 家族は気軽に物の置場を把握できる
- ▶ もっと多くの高齢者がSNSを使いたがる
- ▶ 登録されたデータを脳トレゲームなどに応用

まとめ

- ▶ シニア向けSNSの一つの機能として「置場リマインダー」機能を提案した

今後、

- ▶ 管理サーバに蓄積されたデータのコミュニケーションへの応用を考えていきたい
- ▶ 実装に向けて検討を進めていく予定

ご清聴
ありがとうございます！



補足資料 TLIFESとは

▶ TLIFES(Total LIFE Support system)

スマートフォンとモバイルネットワーク環境を利用した
統合生活支援システム(9つ研究室共同研究)

ユーザ(住民)が所有するスマートフォンで情報共有し、
弱者を含む一般市民が協力し合う社会を作るためのシ
ステム

サーバにおける異常検出



NFCについて

- ▶ Suicaなどで採用されているFeliCa(フェリカ)taspoなどで採用されているマイフェアなどの非接触ICカードと上位交換性があり、さらにNFC通信規格を搭載している機械同士が双方向に通信可能といった特徴がある
- ▶ 機能
 - 「カードエミュレーション」機能
 - ・ 非接触ICカードとしての役割をする機能である。この機能により、全世界で数多く発行されているICカード、ICタグのインフラを利用したアプリケーションの構築が可能
 - 「端末間通信(P2P)」機能
 - 「リーダー・ライター」機能

データの削除と更新

- ▶ 写真情報が確認された後、他のページへ移行する際に、メッセージを出して操作を要求する
- ▶ また、スマートフォンが放置された場合に備えて、写真情報のページを確認した時刻からタイムをカウントし、5分になったら、「データ削除」するかどうかメッセージを提示
- ▶ 「ごみ箱」機能を設けている